

令和4年度 自己点検・自己評価結果

(福井県立看護専門学校)

令和5年6月

◆ 自己点検・自己評価の流れ

- ① 「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会」報告書の評価内容一覧を基本に、他校の自己点検表も参考にしながら、本校の8分野48項目の点検項目を決定。
- ② この点検項目について、全職員による評価を実施。
- ③ 点検項目は、それぞれ

S：優れている(4)、A：当てはまる(3)、B：やや当てはまる(2)、C：当てはまらない(1)

の4段階評価を行い、()内の数字を評価点として各大項目別、中項目別の平均点を算出。

- ④ この結果に基づき、点検・評価を実施。

◆ 自己点検・自己評価結果と課題

点検の結果、いずれの評価項目もほぼ水準を満たしていた。

1. 優れていた評価項目は、以下のとおりであった。

- ◎ 国家試験合格状況は全国の平均合格率を上回っている
⇒国家試験合格率は100%で、全国平均95.5%（新卒）を上回っている。
- ◎ 合格状況を分析し、教育活動に活かしている
⇒必修・一般問題の成績状況を把握して検討している。

2. 今後さらに取り組むべき評価項目は、以下のとおりであった。

- ◎ 教育課程経営
⇒新カリキュラムの運用にあたり教育課程編成に対する教員の共通理解を促進し、一貫性のある教育を実施する。評価結果の活用における倫理規定の明確化を図る。
- ◎ 卒業生の進路
⇒県内就業率は96.9%と過去3年間の平均（83.0%）より13.9%増加した。
- ◎ 地域社会
⇒新型コロナウイルス感染拡大の影響で、学生によるボランティアや献血運動など、地域貢献を通じた教育活動の機会が十分に確保できなかった。
- ◎ 研究成果の発表
⇒毎年の発表を計画し、研究に取り組んでいるが、学会発表や専門誌への投稿には至らなかった。

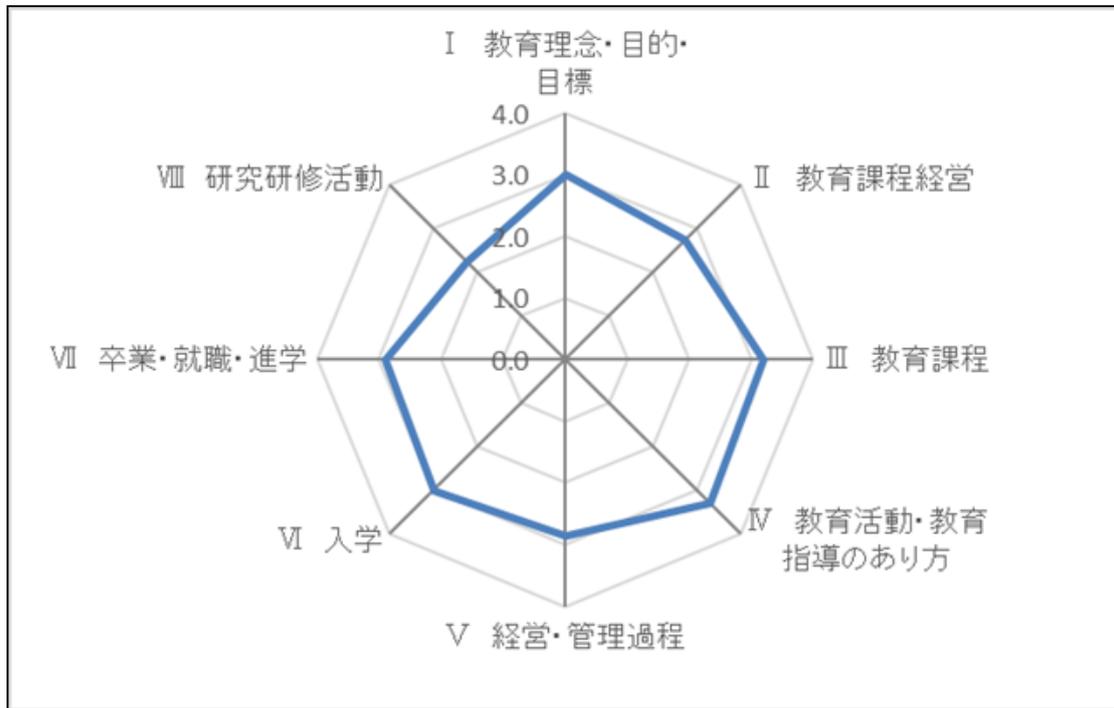
3. 今後の課題

- ① 教員は教育課程編成の共通理解とカリキュラムを見直すために意見交換し、カリキュラム内容を精選していく。
- ② 教育理念にあった実習指導が行われるよう協働体制を整え実習指導力の強化を目指していく。
- ③ 教員が授業準備時間の確保ができるよう体制づくりに努める。
- ④ 教員は看護教育の根拠となる倫理指針を作成し教育に活かしていく。
- ⑤ 入学志願者の確保に向け、関係機関との情報交換、高校生への情報提供を積極的に行う等、入試広報を強化していく。入学者の対象を社会人に広げるなど、社会人入試の導入など入試制度を見直す。
- ⑥ 実習病院と連携し教員が卒業教育の研修を受講できる等体制づくりを工夫していく。
- ⑦ 研究活動を継続し、発表へと繋げ、教員の研究能力の向上を図っていく。

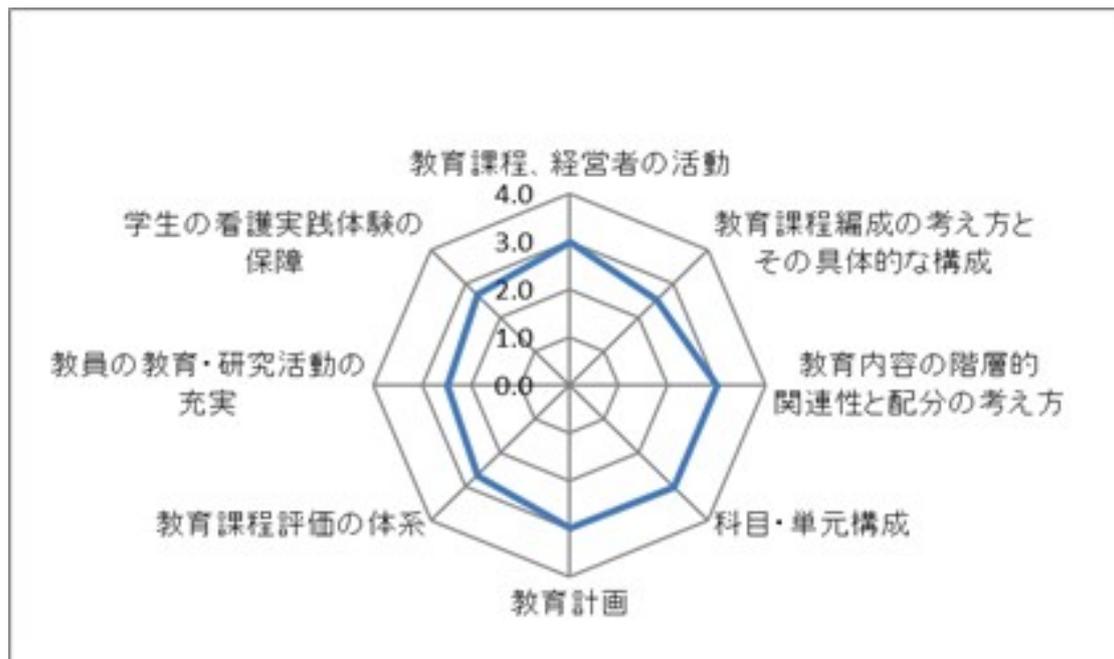
自己点検・自己評価は15年を経過し、評価項目や評価方法が問われる。カリキュラムが変遷するように自己点検・自己評価も見直しを行うことが必要である。この内容が、教育課程を編成する土台となるため、教職員全員で取り組む体制づくりも必要である。

※ 大項目および評価項目ごとにその平均値を図にしたものは下記のとおり。

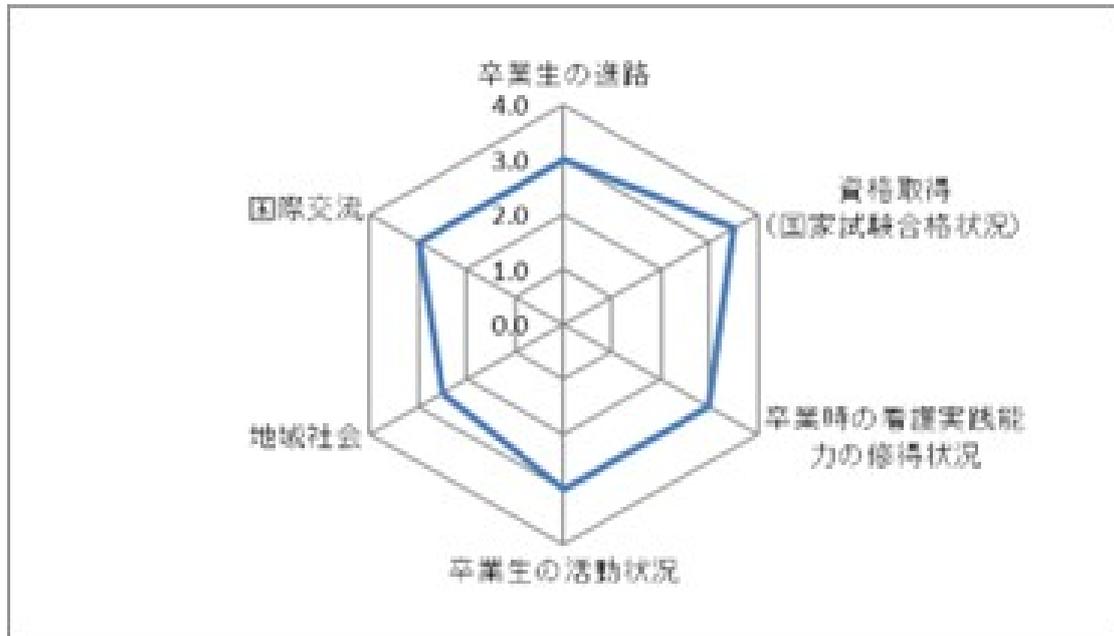
大項目平均



II 教育課程経営



Ⅶ 卒業・就職・進学



Ⅷ 研究研修

